



# お知らせ

R 6 . 5 . 2 0  
道路建設課  
八幡浜土木事務所

## 大洲・八幡浜自動車道「八幡浜道路」開通 1 年後の 交通状況について

令和 5 年 3 月 2 5 日（土）に開通した「八幡浜道路」の開通 1 年後の交通状況をお知らせします。

交通量	<ul style="list-style-type: none"><li>・八幡浜道路の交通量は約 6, 2 0 0 台/日。並行する現道と合わせた断面交通量の約 3 ~ 4 割を占める。</li><li>・並行現道の交通量は開通前より最大で約 3 割、5 千台/日減少。</li></ul>
渋滞状況	<ul style="list-style-type: none"><li>・八幡浜市内中心部の江戸岡交差点では、渋滞長が全体的に短くなるなど、八幡浜道路開通により渋滞が大きく緩和。</li></ul>
所要時間	<ul style="list-style-type: none"><li>・八幡浜東 I C から保内 I C までの所要時間が、最大約 7 分短縮。</li><li>・所要時間の変動が縮小し、定時性の確保に寄与。</li><li>・迅速な救急搬送に大きく貢献。</li></ul>

○大洲・八幡浜自動車道の映像データの提供について

掲載先：

大洲・八幡浜自動車道 Facebook

URL: <https://www.facebook.com/bigeight.highway/>

八幡浜土木事務所 Instagram

URL: <https://www.instagram.com/yawatahamadoboku.ehime/>

QR コード



Facebook



Instagram

担当・問い合わせ先

【事業全般に関すること】

・土木部道路建設課

電話：089-912-2710

【工事の内容、現地取材に関すること】

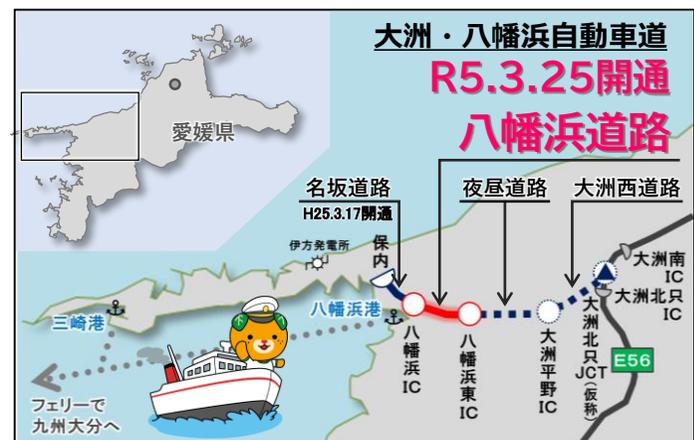
・八幡浜土木事務所 大洲・八幡浜自動車道建設課 電話：0894-22-4111 (代表)

# 大洲・八幡浜自動車道「八幡浜道路」の概要

《 八幡浜道路 》 平成17年度の事業着手から18年の歳月を経て、令和5年3月25日に開通

- **大洲・八幡浜自動車道**は、四国の西の玄関口である愛媛県の八西地域（愛媛県八幡浜市、伊方町）と大洲市を結び、四国8の字ネットワークに接続する**自動車専用**の**高規格道路**です。
- フェリー航路を介して九州と四国、そして本州をつなぐ「**新たな国土軸**」の一翼を担うとともに、「**地方創生の道**」、「**命の道**」として、人口減少の進行やコロナ禍を経た社会の変化など時代の岐路に立つ今、新時代の国土・地域づくりへの架け橋となる重要な道路です。
- 「**八幡浜道路**」は、本自動車道の一部であり、平成25年3月に開通した名坂道路と共に、**地域間交流の促進や物流の効率化**などが期待されています。

《位置図》

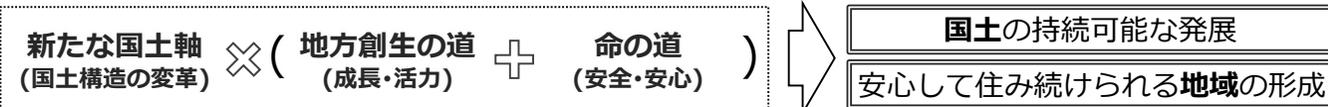


《八幡浜道路の概要》

路線名	一般国道197号 <small>やわたはま</small> 八幡浜道路
区間	起点： <small>やわたはましろ</small> 愛媛県八幡浜市郷（八幡浜東IC） 終点： <small>やわたはましろおひら</small> 愛媛県八幡浜市大平（八幡浜IC）
延長	3.8 km
道路規格	第3種第3級（自動車専用道路） 設計速度60 km/h（2車線） 標準幅員6.0（9.0）m

《大洲・八幡浜自動車道の概要》

新時代の国土・地域づくりへの架け橋 ～九州と四国、そして本州をつなぐ最後のピース～



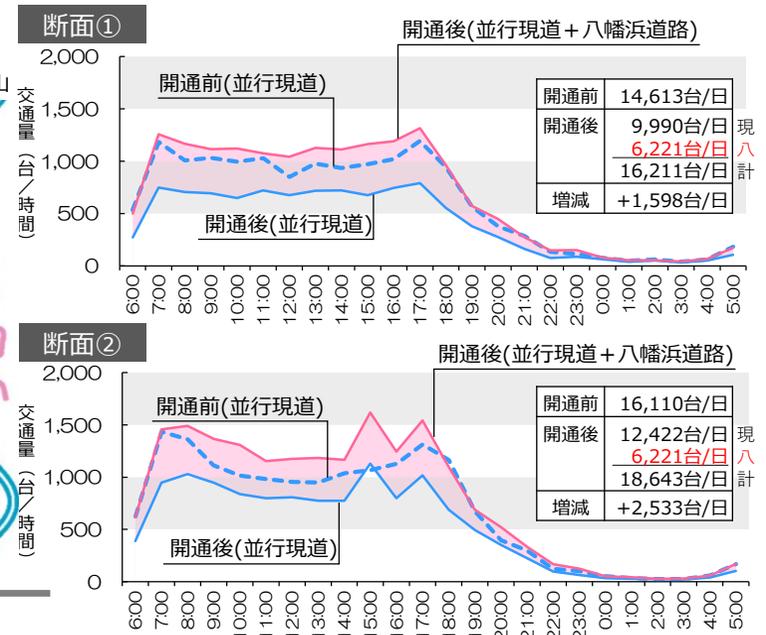
# 八幡浜道路開通 1年後の交通状況 《交通量の変化》

- **八幡浜道路**の交通量は約6,200台/日。並行する現道と合わせた**断面交通量の約3~4割**を占める。
- **並行現道**の交通量は開通前より最大で約3割、約5千台/日減少。

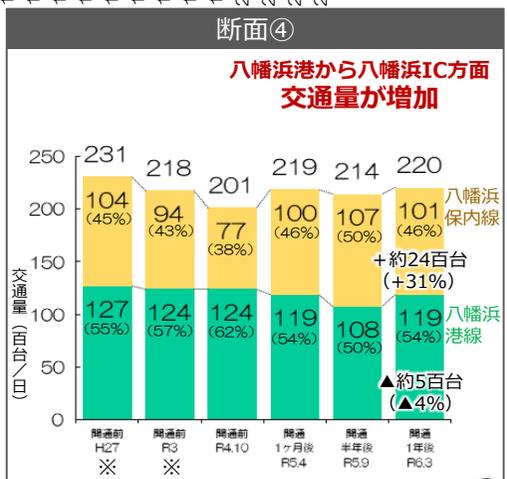
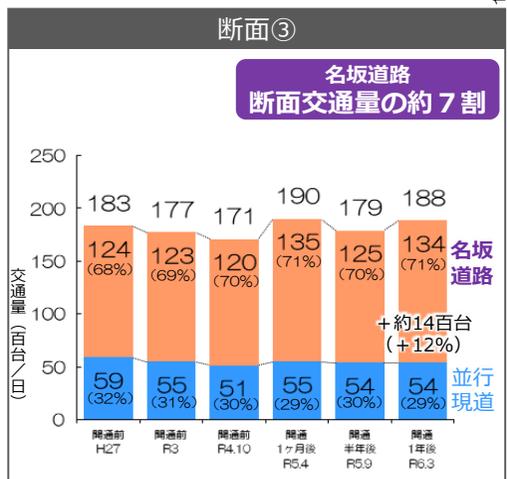
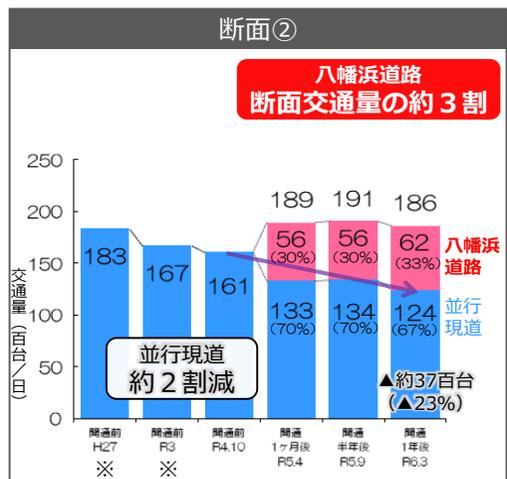
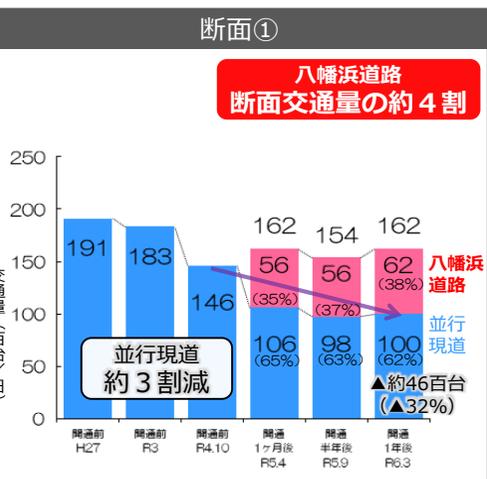
《平面図》



《時間帯別交通量の変化》



《日交通量の変化(平日)》



(資料) 交通量調査結果 開通前: 全国道路・街路交通情勢調査結果 (H27、R3)、交通量調査結果 (R4.10.26 6:00~翌6:00) ※12時間調査値に24時間交通量調査を行った区間の昼夜率を乗じて日交通量を算出  
開通後: 交通量調査結果 (R5.4.28 6:00~翌6:00、R5.9.27 6:00~翌6:00、R6.3.27 6:00~翌6:00)

# 八幡浜道路開通 1 年後の交通状況 《渋滞状況の変化》

■八幡浜市内中心部の江戸岡交差点では、八幡浜道路開通により渋滞が大きく緩和。

《夕方ピーク時の江戸岡交差点の状況》（交差点から東（大洲）方面を撮影）



R4.10.26 (水)17時台  
(主要渋滞箇所)



R6.3.27 (水)17時台

《江戸岡交差点の最大渋滞長の変化》

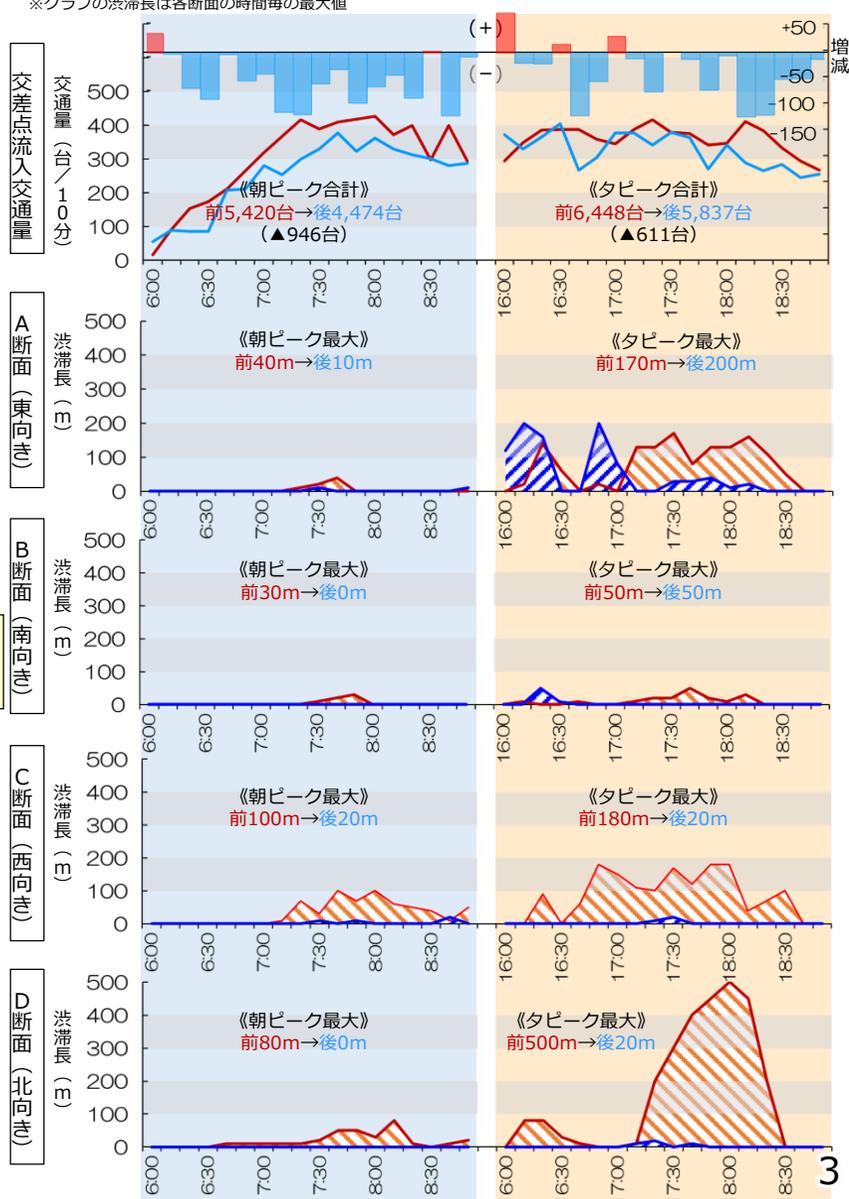
(資料) 渋滞長調査結果 開通前 R4.10.26、開通後 R6.3.27  
※渋滞長：1回の信号待ちで通過できずに残っている車列の長さ

朝ピーク (6:00~9:00)

夕ピーク (16:00~19:00)



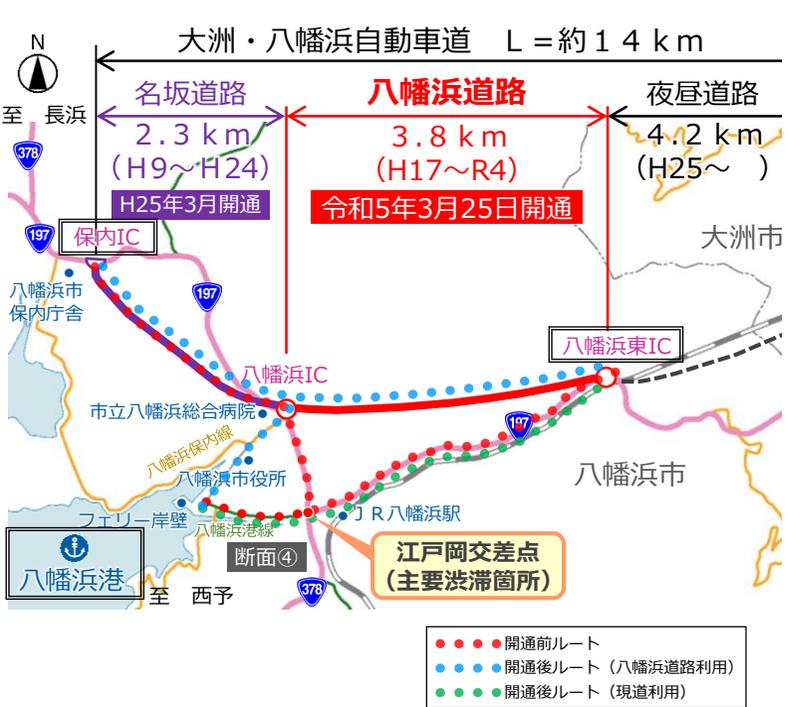
《時間帯別の交差点流入交通量と渋滞長の変化》 開通前 R4.10.26 開通後 R6.3.27  
※グラフの渋滞長は各断面の時間毎の最大値



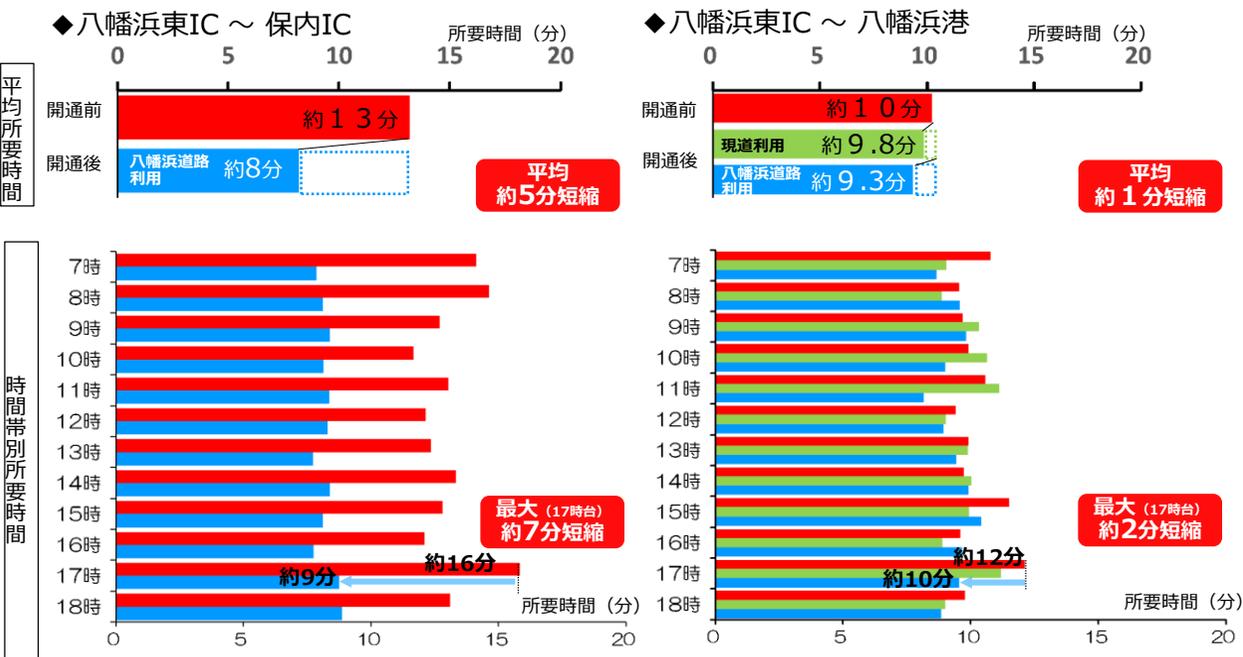
# 八幡浜道路開通 1年後の交通状況 《所要時間、旅行速度の変化》

- 八幡浜東ICから保内ICまでの**所要時間**が、**最大約7分短縮**。江戸岡交差点付近では、**現道の旅行速度が約3km/h向上**。
- **所要時間の変動が縮小**し、定時性の確保に寄与。迅速な救急搬送に大きく貢献。

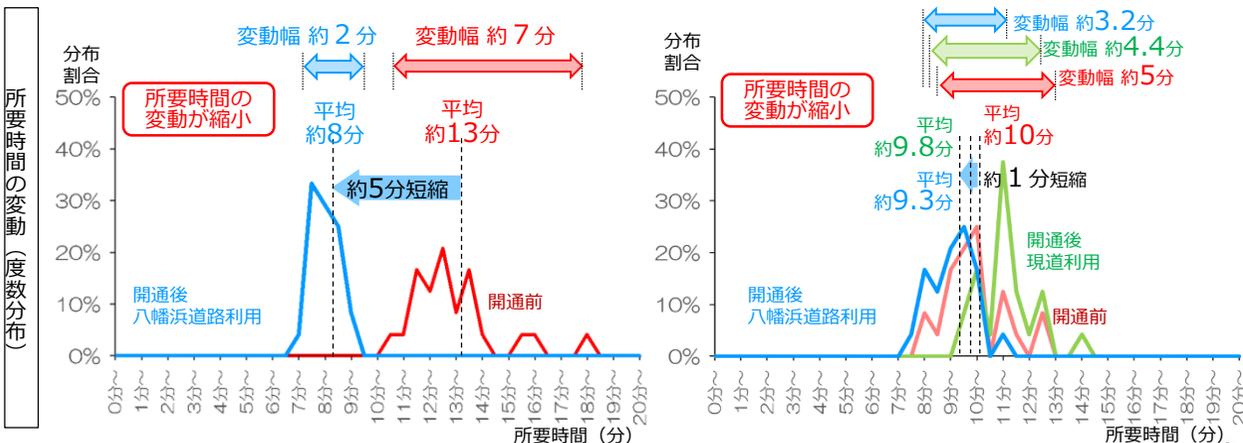
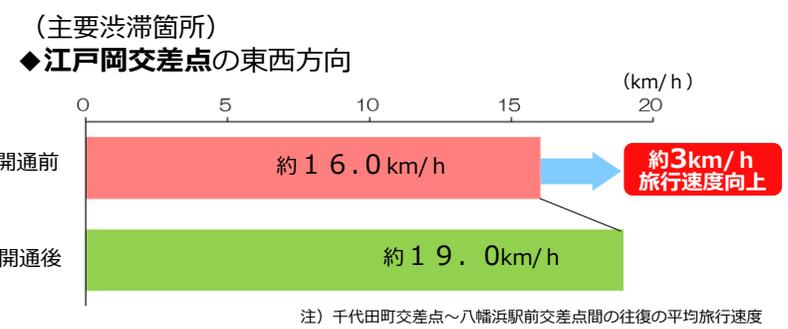
《平面図》



《所要時間の变化》



《旅行速度の変化》



(資料) 走行調査結果 ※時間帯別に1往復実走行により計測  
 開通前: R4.10.12、10.13 7:00~18:00、開通後: R6.4.3 7:00~18:00  
 注) 所要時間: 往復の平均所要時間  
 所要時間の変動: 往路、復路それぞれの所要時間を0.5分毎に区切った度数分布

# 八幡浜道路の整備効果に関する関係者への調査結果

- R 5.1 1～1 2月、関係機関、物流事業者、フェリー利用貨物車にヒアリング等を実施。
- 対象は、関係機関 1 9 団体、物流事業者 9 社、八幡浜港からのフェリー利用貨物車 1 7 4 台。

## <①関係機関>

○移動時間の短縮、江戸岡交差点の渋滞緩和などの整備効果を実感する多くの意見が寄せられた。

○産業面においては、八幡浜道路の開通だけでは実感できる効果がないとの意見あり。

### <利用者の声>

- （警察）交通量が分散し、交通事故抑止に効果が出てきている。
- （観光）アクセス性向上を実感。県外の車が増えている印象。
- （交通）路線バスの遅延が解消し、乗務員のストレスも軽減。
- （産業）実感できる効果はないが、全線開通すれば、雇用増加も期待。
- （地域）大洲方面へ行くのが楽。移動時間は半分以上短縮した感覚。現道の交通量が減少し、歩行者や自転車の安全性が向上。現道の渋滞解消に大きく貢献。現道は夜間の車の速度が高く注意が必要。

（消防）大洲・松山方面へ救急搬送する場合は、**八幡浜道路経由がほぼ定着**しており、**医療機関までの搬送時間短縮**のほか、現道に比べ線形がよいため揺れが少なく**傷病者の負担軽減**につながっています。

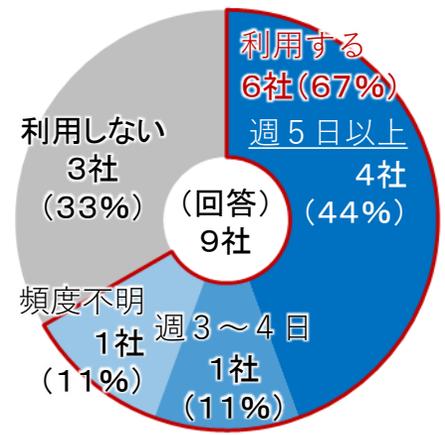
八幡浜地区施設事務組合消防本部ヒアリング調査

## <②物流事業者>

○回答があった事業者の7割が八幡浜道路を利用。

○時間を効率的に使えるようになったなどの業務改善効果があったとする意見が寄せられた。

### <八幡浜道路の利用状況>

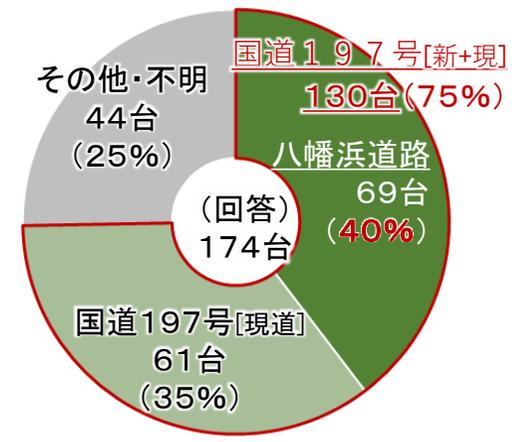


- 八幡浜道路開通で実感した効果
  - ・信号がなくスムーズに移動できる
  - ・歩行者等と分離され安全が高まった
  - ・所要時間が読めるようになった
  - ・渋滞を回避できるようになった
- 業務の改善効果
  - ・運転の安全性が向上した
  - ・急ブレーキによる荷崩れの心配がなくなった
  - ・時間を効率的に使えるようになった

## <③フェリー利用貨物車>

○八幡浜港まで4割は八幡浜道路を利用。

### <八幡浜港までの利用経路>



- 八幡浜道路を利用する理由
  - ・早く目的地に到着
  - ・安全に走れる
  - ・信号が回避できる
- 国道197号を利用する理由
  - ・所要時間が変わらない
  - ・現道が混雑していない
- その他道路を利用する理由
  - ・八幡浜道路や国道197号を通らない経路（主に国道378号を利用）
  - ・他の経路より早く移動できる